

# えっとまめな介護だより Vol.13

今回は、介護相談員の活動について紹介します。

現在、市内で介護相談員として活動している4名の方に、介護相談員に応募したきっかけや活動中に感じたことなどについてインタビューしました！

## 介護相談員とは

介護相談員とは、一定水準以上の養成研修を修了し、市から委嘱された方です。介護サービス施設等を訪問し、利用者やその家族から介護サービスに関する不安や不満、悩み等を聞き、その内容を事業者や行政に「橋渡し」することで、問題の改善や介護サービスの質の向上を目指します。



(写真左から)  
斎藤さん、栗原さん、竹下さん、益田さん

## 介護相談員に応募したきっかけ

- 退職して、何もせず家にいるのは性格上無理と思っていた時に介護相談員の募集を目にしました。社会との接点を見つけることの必要性を感じてのことでした。
- 長年、介護現場で一緒に働いていた先輩から「今までの経験を活かして、これからは社会貢献という気持ちでやってみたら」と声をかけてもらいました。「社会への貢献」という言葉に気持ちを動かされました。

## 活動の中で心がけていること

- 相手の話を聴く時の姿勢や声のトーン、スピードに注意し、できるだけ同じか低い目線での姿勢を心がけています。また、話しかけやすいような雰囲気(笑顔)で対応するようにしています。
- 自身が身も心も安定した状態で、訴えに「しっかり耳を傾ける姿勢」で訪問しようと心がけています。また、認知症の方に対しては訴えを全身から感じ取るようにしています。

## 活動の中で「良かった」と感じたこと

- 誰かは覚えていなくても、笑顔で迎えてもらえた。
- 施設側から「毎日見ている自分達では気付けないことを知らせてもらい良かった」と喜ばれた。
- 「あなたに出会えてよかった」「心が軽くなった」などの言葉をいただいた。
- 相談を受け、利用者の方の望みが叶って前向きに日々を過ごす気持ちになっている姿を目にした時、お役に立てて良かったと感じます。

## 介護相談員に興味のある方へ

- 元気でやる気があればどなたでもなってほしいと思います。難しく考えず一緒に活動しませんか。利用者の方の声から「人生の学び」をたくさんいただけることがきっと「宝物」になると思います。
- 「私でよければお話を聞かせてくださいませんか」と謙虚な気持ちと寄り添う心、共感・共鳴する気持ちのある方、この活動を通じてやりがいを感じてみませんか。

★皆さんも介護相談員として活動してみませんか。応募要件や受付期間など、詳しくは問い合わせください。

【問い合わせ先】市高齢者福祉課 ☎ 31-0218 ☎ 24-0181